

趙 玫妊

兵庫県立福祉のまちづくり研究所 研究員

利用者を理解した建築専門家育成のための仕組みづくりに関する実践的研究～日本と韓国を対象として～

本研究では、空間を作ることが職能である建築専門家に対して、利用者に配慮した視点を育てることへのエンパワーメントに焦点を当て、建築専門家の利用者のニーズに対する「気づき」を誘発する普及啓発、及びこれらをプログラムとして推進する仕組みづくりを行うことで、社会福祉システムの構築を試みた。超高齢社会が懸念される日韓において、建築専門家へのアンケート調査結果と利用者の評価によるバリアフリー点検をベースに、各建築専門家が実践するバリアフリーデザインとバリアに対する工夫を導出した。その上、参加者（障害のある利用者と施設運営管理者及び建築専門家）の意見を集約し、その課題・効果について分析することで、高齢者や障害者の住み慣れた地域での自立生活を支援することができるバリアフリー環境整備手法及び評価手法を提案することができた。この提案は、よりキメ細かな利用者の生活・利用実態に応じた支援体制づくりが可能となり、ユニバーサル社会の実現に貢献できる。